



指導を受けながら3枚おろしに挑戦する生徒↑

★慣れない手つきで四苦八苦

長島中が特産のブリで加工実習

1月28日、長島中学校（新田薫校長）では、特産の養殖ブリを使った加工実習の出前授業が行われました。

これは、東町漁協（長元信男代表理事組合長）と同組合の養殖業者が世界各地に輸出している特産の「鰯王」を地元の中学生に周知する取り組み。同授業には2年生の26人が参加し、講師となった養殖業者の会員らから手ほどきを受け、4㎏もあるブリの3枚おろしや皮はぎを体験しました。初めてブリに触る生徒も多く、滑る魚に苦戦していましたが、刺し身やタタキ、しめブリにブリ汁、ブリ飯、ブリカツとブリ尽くしの料理を作り、舌鼓を打っていました。

竹田えみりさんは「ブリの解体はすごく大変でしたが楽しかった。特に刺し身とタタキがおいしかった」と満足の様子でした。町口レナさんは「ブリの素材からいろいろな料理ができてびっくり。どの料理もおいしかった」と話し、町の特産品を見直す機会となっていました。

島原・天草・長島架橋構想
九州西海岸軸構想推進講演会

三 県架橋を夢に終わらせない

島原・天草・長島架橋建設促進協議会は、鹿児島、長崎、熊本3県にまたがる架橋建設促進を図るため、12月22日、島原・天草・長島架橋構想九州西海岸軸構想推進講演会を開催しました。

この日、会場となった熊本県天草市牛深町の総合センターには、3県の行政や経済関係者、地域住民ら約700人が参加し、構想の重要性について認識を深めました。このほか、会場では475点の応募があった架橋構想絵画コンテストの入賞作品の表彰式も行われ、鹿児島県の部の最優秀賞で、町立平尾中学校1年の鳥越浩太君と、本浦小学校6年の平元悠太君が表彰されました。



表彰された鳥越さん（左端）と平元さん（左から2番目）↑

川添町長からお祝状と記念品を手渡され喜ぶ荒木さん↓



★やさしい人に囲まれて幸せ

荒木トミさん 100歳のお祝い

12月27日、特別養護老人ホーム「さざ波」に入所している荒木トミさんがめでたく100歳を迎え、長寿のお祝いに川添健町長が同ホームを訪れました。

この日荒木さんは、入所者の友人らと笑顔で歓迎。川添町長は「これまで郷土発展のために活躍してこられたことに感謝します。これからも更なるご長寿を重ねてください」とお祝いの言葉を述べ、お祝状と記念品を手渡しました。

荒木さんは「施設の皆さんは優しく食事もいい。毎日楽しい生活を送っています」と施設での充実ぶりを話しました。